

製品名: Skp1 (1508) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17932**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,FC 1:50-1:100,IF-P 1:100-1:200
分子量	19kDa

抗原情報

遺伝子名	SKP1
別名	OCP2; p19A; EMC19; SKP1A; OCP-II; TCEB1L;
遺伝子 ID	6500.0
SwissProt ID	P63208
免疫原	ヒト Skp1 の合成ペプチド

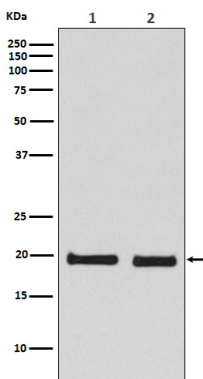
背景

SCF (SKP1-CUL1-F-box タンパク質) ユビキチンリガーゼ複合体の必須成分であり、細胞周期の進行、シグナル伝達および転写に関与するタンパク質のユビキチン化を媒介します。SCF (SKP1-CUL1-F-box タンパク質) ユビキチンリガーゼ複合体の必須成分であり、細胞周期の進行、シグナル伝達および転写に関与するタンパク質のユビキチン化を媒介します。SCF 複合体では、F-box タンパク質を CUL1 にリンクするアダプターとして機能します。SCF 複合体の機能特異性は、基質認識成分としての F-box タンパク質に依存します。SCF (BTRC) および SCF (FBXW11) は、CTNNB1 のユビキチン化を指示し、Wnt シグナル伝達に関与します。SCF (FBXW11) は、リン酸化 NFKBIA のユビキチン化を指示します。SCF(BTRC) は、NFKBIB、NFKBIE、ATF4、SMAD3、SMAD4、CDC25A、FBXO5、CEP68、そしておそらく NFKB2 のユビキチン化を誘導します (PubMed:25704143)。SCF(SK2P2)は、リン酸化 CDKN1B/p27kip のユビキチン化を誘導し、G1/S 期移行の調節に関与しています。SCF(SK2P2)は、ORC1、CDT1、RBL2、ELF4、CDKN1A、RAG2、FOXO1A、そしておそらく MYC と TAL1 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXW7)は、サイクリン E、NOTCH1 遊離ノッチ細胞内ドメイン (NICD)、そしておそらく PSEN1 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXW2)は GCM1 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXO32)は MYOD1 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXO7)は BIRC2 と DLGAP5 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXO33)は YBX1 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXO11)は BCL6 と DTL のユビキチン化を誘導しますが、TP53 のユビキチン化は誘導しないようです。SCF(BTRC)は NFKBIA の「Lys-21」と「Lys-22」のユビキチン化を媒介します。この分解により、関連する NFKB1-RELA 二量体が核に移行し、転写を活性化します。SCF(CCNF)は CCP110 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXL3)と SCF(FBXL21)は CRY1 と CRY2 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXO9)は TTI1 と TELO2 のユビキチン化を誘導します。SCF(FBXO10)は BCL2 のユビキチン化を誘導します。

研究分野

細胞生物学

画像データ



(1) 293T 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における Skp1 発現のウエスタンブロット解析。